

## WS77-PC ウィンドシールド取扱・取付説明書

適応機種：ホンダ車  
ディオ／ディオチェスタ  
型式：AF62／AF68 年式：'03～

- 販売店様へ  
この取扱・取付説明書は、必ずお客様にお渡し下さい。
- お客様へ  
この取扱・取付説明書は、必ず保管してください。

このたびは、ウィンドシールドをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。  
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつも手元に置いて、正しい取扱方法により  
永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

製造：株式会社 旭精器製作所  
発売元：株式会社 旭精器製作所  
住所：東京都足立区舎人2-16-21  
TEL：03-3853-1211

## 部品構成表

No.	部品名	Q T Y	No.	部品名	Q T Y
①	シールドASSY	1	⑥	ナットM10	4
②	ステー丸棒	2	⑦	セッティングボルト38	2
③	ホルダーS	2	⑧	ゴムキャップ	2
④	スプリングワッシャー10mm	2	⑨	取扱・取付説明書	1
⑤	プレーンワッシャー18×10×1.6	4	⑨	シールセット	1

※シールセットは、ウィンドシールドに貼付けて使用してください。

## スクリーン取扱について

## ⚠ 注意

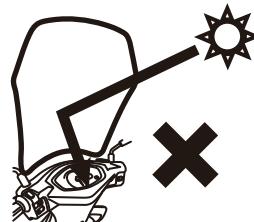
- 走行前に取り付け状態を点検し、各部のボルトが確実に締め付けられているか確認してください。
- ウィンドシールドが汚れた場合は多量の水をかけながら柔らかい布か、スポンジで拭いてください。
- ウィンドシールドは、傷つきやすいのでブラシなどの洗浄は避けてください。
- ウィンドシールドの汚れがひどいときは、中性洗剤を使用してください。
- 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤でのお手入れは避けてください。  
またバッテリー液、ブレーキフルードがウィンドシールドに付着しないようにしてください。ウィンドシールドのプラスチックを損傷します。
- ボディカバー（車体カバー）をかぶせた状態で駐車する場合は、日陰の風通しの良い場所を選んでください。
- ボディカバー（車体カバー）をかぶせて高温下に駐車しますとカバー内に熱がこもり、ウィンドシールドが変形する場合があります。
- ボディカバー（車体カバー）を使用の際は、ウィンドシールドに無理な力がかかるないものをご使用ください。  
小さなものを無理にかけますと、ウィンドシールドが変形したり、折れたりする場合がありますので注意してください。
- 無理に折り曲げたり、強い衝撃を加えますと破損することがありますので注意してください。

## ⚠ 警告

- 風の強い日は、風の影響を受けやすいので、スピードを控えめにして走行してください。
- 駐車する場合は、安定した場所（路面の固い平坦地）を選んでください。
- ウィンドシールドの著しい傷つきや、黄変がある場合は、十分な前方視界の確保ができない為、シールドの交換を行ってください。
- スクリュー、ボルト、ナットは確実に締めてください。  
締付けが不確実な場合、走行中に脱落し、自分または後続車の乗員や歩行者を死亡、または重大な傷害に至らしめる可能性が高くなります。

## —スクリーン反射集光の警告—

- スクリーンに直射日光が当たらないように駐車してください。  
スクリーンが凹面鏡になり、反射集光した太陽光が発熱し車両のカバーなどを変形させる恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所に駐車する場合は、柔らかいタオルなどでスクリーンをカバーして直射日光が当たらないようにしてください。

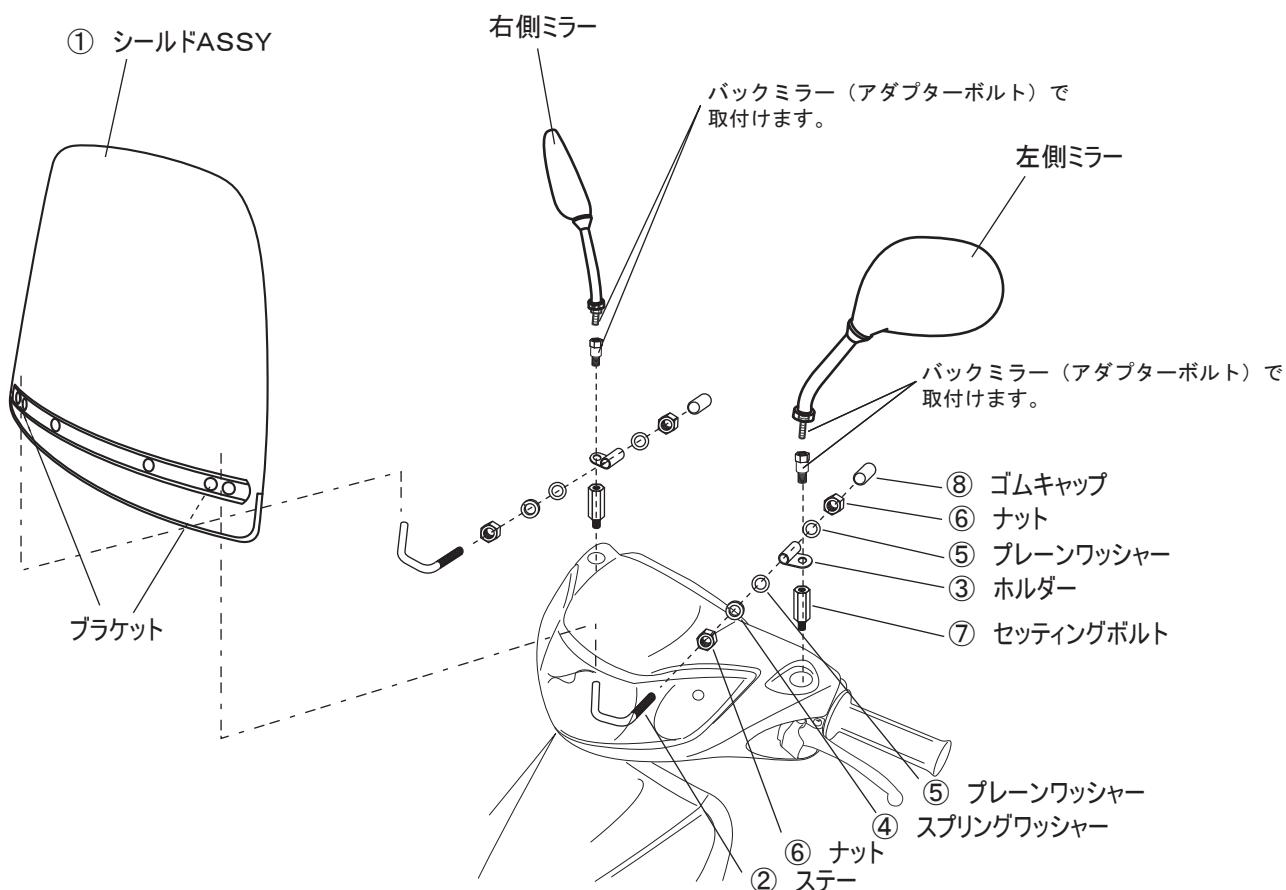


## 必要工具

● スパナ(12mm) ● スパナ(14mm) ● メガネレンチ(14mm) ● プラスドライバー

## 取り付け方法

1. 左右のミラーを取り外してセッティングボルト⑦を取付けます。
2. 図のようにステー②にナット⑥・スプリングワッシャー④・プレーンワッシャー⑤・ホルダー③をセットし  
プレーンワッシャー⑤・ナット⑥を取付けバックミラーを取付け仮組みします。
3. シールドASSY①の左右ブラケットを取付けているビスを緩めステー②に差し込み  
シールドと本機のハンドルカバーのバランスを確認し仮組みします。
4. 正面図のようにハンドルカバーとの隙間を調整し左右のバランスを取り、本締めします。
5. ゴムキャップ⑧をステー②のネジ部分にかぶせます。
6. 最後に後方確認出来る位置でミラーを本締めします。



正面図

